

令和8年度第1回評議員会（定時）

議 事 録

公益財団法人 東京都公園協会

令和8年度 第1回評議員会（定時）議事録

公益財団法人東京都公園協会

1 開催日時 令和8年6月26日（金） 14時57分から16時09分

2 開催場所 東京都公園協会本社10階A・B会議室及びオンライン会議

3 出席者 評議員総数 13名

出席評議員 12名

評議員	荒井	芳則	評議員	荒木	ちはる
評議員	鈴木	勝	評議員	田代	順孝
評議員	土屋	十圀	評議員	東野	寛
評議員	富田	竜馬	評議員	中島	宏
評議員	平野	啓子	評議員	藤崎	こうき
評議員	宮瀬	英治	評議員	吉田	健一

（15時55分退席）

監事総数 2名

出席監事 2名

監 事 小木曾 正隆 監 事 島 博 文

なお、以下の出席者は、オンライン会議システム「Zoom」により参加した

土屋 十圀 富田 竜馬 宮瀬 英治

4 議 長 評議員 東野 寛

5 決議事項 第1号議案 理事の選任について

第2号議案 評議員選定委員会委員の互選について

6 報告事項 （1）令和7年度 事業報告について

（2）令和7年度 決算について

（3）令和8年度 事業計画について

（4）令和8年度 収支予算並びに

令和8年度 資金調達及び設備投資の見込みについて

（5）中期経営計画の改訂について

7 議事録作成者 理事長 矢岡 俊樹

8 議事の経過の要領及びその結果

出席予定者が揃ったため定刻 3 分前の14時57分に深作総務課長（以下「事務局」という。）が開会を宣言。新しく就任された評議員の紹介を行い、矢岡理事長が開会に当たっての挨拶を行った。

議事にあたり、事務局が定款第20条に基づき、議長の選出を評議員に諮ったところ、「事務局一任」の声があり、事務局一任にて東野寛評議員を推薦した。満場異議なく賛成したため、東野寛評議員が議長に就任した。

議長は、評議員会の成立について、事務局に報告を求めた。事務局は、定款第21条に定める評議員出席数を満たしているため、本評議員会が有効に成立した旨を報告した。

議長は、定款第25条第2項に基づき議事録署名人の選出を評議員に諮ったところ、「議長一任」の声があり、議長一任にて田代順孝評議員及び中島宏評議員を推薦した。満場異議なく賛成したため、田代順孝評議員及び中島宏評議員を議事録署名人に指名した。

（1） 第1号議案 理事の選任について

議長は、上記議案について事務局に説明を指示し、城田総務部長より、令和8年度定時評議員会終結の時をもって任期満了となる笹沼理成常務理事、植村敦子常務理事、進士五十八理事、関根正人理事、高梨雅明理事、谷川真理理事、羽生冬佳理事、松川（土田）淳子理事の重任について説明がなされた。

説明後、議長が第1号議案の賛否を諮ったところ、満場異議なく賛成したため、承認を決議した。

（2） 第2号議案 評議員選定委員会委員の互選について

議長は、上記議案についての説明を事務局に指示し、城田総務部長より説明がなされた。説明後、議長が評議員選定委員会委員の選出を諮ったところ、「事務局一任」の声があり、議長が賛否を諮ったところ、満場異議なく賛成したため、事務局一任にて中島宏評議員を推薦し、議長が賛否を諮ったところ、満場異議なく賛成したため、承認を決議した。

9 報告事項の経過の要領

(1) 報告事項1 令和7年度 事業報告について

(2) 報告事項2 令和7年度 決算について

議長は、上記報告事項について関連があるため一括での説明を事務局に指示し、城田総務部長より説明がなされた。

(3) 報告事項3 令和8年度 事業計画について

(4) 報告事項4 令和8年度 収支予算並びに

令和8年度 資金調達及び設備投資の見込みについて

議長は、上記報告事項について関連があるため一括での説明を事務局に指示し、城田総務部長より説明がなされた。その後、下記のとおり質疑応答、意見があった。(以下、要旨)
吉田評議員は報告事項3及び4に関する質疑応答の途中、15時55分に退席した。

【田代評議員】

令和8年度の収支予算について、例えば、公園内の倒木の問題などに対する安全対策が草木全体、遊び方など様々な問題にも影響してくると認識しているが、倒木や倒木から波及する問題の扱い方、考え方、それらに対する取組の方向性、計画にどのように反映されているかをお聞きしたい。

【根来公園事業部長】

樹木について、倒木により、来園者の皆様に大変な御不安、御心配をおかけしており、本当に申し訳なく思っている。現在、公園協会は、公園内の樹木の点検、樹木医による診断を行い、まずは倒木の心配がない、安心して御利用いただける環境を実現していく点に全力で取り組んでいる。

しかし、危険な樹木に対応するだけでは、公園としての魅力向上にはならないと認識している。まずは危険なものに対応していくという点に取り組み、その上で、皆様に安心して御利用いただき、かつ、公園としての魅力が高まるような管理について、しっかり取り組んでいきたい。

【田代評議員】

現在、樹木医は公園協会に何人いるのか。また、樹木医のトレーニングなどはどのような対応を取っているのか。

先ほどの例で言うと、日常、非日常を問わない防災の考え方という大きな流れの中で、あちこちで問題となっている倒木は相当大的なインパクトであると思う。倒木に対し、具体的にどう対処していこうとしているのか考え方を伺いたい。

【中尾技術管理担当部長】

現在、公園協会の職員のうち8名が樹木医の資格を所持している。倒木の際、原因分析などのために公園協会の職員である樹木医が現地で根や根元の状態を調査し、なぜ倒れたのかということを研究している。

一方、先ほど根来が申し上げたとおり、約11,000本の樹木の点検を行っており、その中で樹木医による診断が必要と判断した樹木約7,700本存在するが、公園協会の樹木医で対応できる本数ではないため、東京都造園緑化業協会様や一般財団法人日本緑化センター様へ依頼し、各団体に所属している樹木医を公園へ派遣いただき、順次、診断を進めている。

【田代評議員】

現在は公園協会内部で樹木医を育成するより、外部団体との連携にウェイトを置き、倒木に対応していると理解した。公園協会内部で今後、樹木医などの人材を育成することは検討しているのか。

【中尾技術管理担当部長】

公園協会として、樹木医の資格取得に向けて色々取り組んでおり、今年度も3名受験する予定。合格した際の受験費用やその後の資格手当などの制度により、樹木医の資格取得を支援している。

【土屋評議員】

2点ほど質問したい。1つ目は、熊対策について。近年、東京都でも八王子や高尾山など、熊の出没が非常に増えている。例えば自然公園管理の中で、防災対策の中に熊対策も位置づけられているのか。また、今後どのような対策を考えているのかを伺いたい。

2つ目は、森林環境税を納めるようになったが、公園協会は森林環境税に関する業務を行うことはあるのか伺いたい。

【根来公園事業部長】

1 つ目の熊対策について、公園協会はビジターセンターや自然公園で申し上げると小峰公園などを指定管理者として管理している。これらの施設においては、連絡体制を整備する、来園者へ熊に対する警戒を呼びかける普及啓発などの取組を行っている。

自然公園の区域も含め、東京都全体の熊の個体数の管理などといった部分については、東京都環境局が取り組んでいると認識している。

【城田総務部長】

2 つ目の森林環境税については特定財源である点から、東京都の環境局や産業労働局などが予算執行していく形になる。現時点では、それらの部署から公園協会に対し、その財源を活用した事業に関する話題は寄せられていない。

【土屋評議員】

承知した。自然災害だけでなく、熊の問題についてもこれからますます色々な問題が起きてくると予想されるので、ぜひ公園協会が管理する自然公園においても対応を強化してほしい。

(5) 報告事項5 中期経営計画の改訂について

【宮瀬評議員】

予算、次年度の計画、中期目標いずれも、PDCAサイクルを見た時、DOしか記載されておらず、数値目標が一切記載されていない経営計画は民間ではあり得ないと思う。

例えば、パークミーティングを実施すると記載されているが、現状どのくらい実施し、どのくらい実施していないのか、どのくらい進めていくのか、意識の向上について、現状どのくらいの意識の数値があり、どのくらい上げていくのかというプランの数字がなく、DOしか記載されていない。これでは経営計画ではなく、ただやりたいことを羅列しているだけになっているので、きちんと目標数値を立て、それに対して現状がどうで、何をどのようにしていくからどのくらいの数値を目指すという、数字で語ってほしい。現在、数値を記載していない理由と、今後、数値で記載するのかについて知りたい。

【城田総務部長】

公園協会の事業計画では、どのような事業を持ち得る予算でどのように実施していくかについて、計画を立て、全体として記載している。宮瀬評議員がご指摘のとおり、実際に実施していく各事業については、予算が伴っているので、これだけの事業をこの予算の中でやっていくということで、計画として記載している状況。

予算書については、この費用に対し、収入はこれだけ上げるという形で、それぞれ予算組みを行っている。そのため、細かく記載していない部分はあるが、法人として限られた財源の中でしっかり経営できるように、どこにどれだけの事業をどのように行っていくかという形で記載している。

【宮瀬評議員】

今の説明は、実施している事業に予算をつけているという説明だが、そうではなく、実施している事業に目標数値を持ち、数字で語ってほしい。

【城田総務部長】

公園協会としては、この事業計画で記載した内容を確実、的確に実施していきたい。実際に実施できたか、できなかったかという点を事業報告書で報告する。

【宮瀬評議員】

実施しているかどうかではなく、実施している分量が適切なのか、目標数値に到達しているのか、という点が、DOだけでは分からないので、きちんと数値目標を記載してほしいと言っている。

【城田総務部長】

実際には、予算において公1事業、公2事業、公3事業、また、収益事業についても、それぞれ予算項目ごとに予算内で実施できるようにという形で記載している。

例えば収益事業であれば、いくら収入を上げることを目標とし、費用については、社会環境が厳しい状況でもいくら費用に抑えることで、利益をこれだけ出すという予算立てを行っており、その目標を達成できるかについては、決算及び事業報告で報告する形になる。

【宮瀬評議員】

今は予算の話をしているのではなく、事業計画の目標数値がどうなっているかという点を話題にしている。これ以上話すとエンドレスになるので、以上とするが、数値目標を設定してほしいという要望を上げておく。

16時09分閉会

前記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、議長及び議事録署名人が記名押印する。

令和8年6月26日（金）

公益財団法人東京都公園協会

議 長 評 議 員 東野 寛 押印

議事録署名人 評 議 員 田代 順孝 押印

議事録署名人 評 議 員 中島 宏 押印